

平成29年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検及び評価報告書

南富良野町教育委員会

～ 目 次 ～

1	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について・・・	1
2	教育委員会会議等の開催状況	2～5
3	教育長及び教育委員の主な活動状況	6～10
4	児童生徒の活動状況（部活動等）	11～14
5	教育行政執行方針の概要	15～16
6	教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事業一覧	17～18
7	事務・事業等の点検・評価の方法	19
8	事務・事業点検・評価シート	20～34
9	前年度点検・評価対象事務・事業の状況	35～36
10	学識経験者	37
11	教育委員会の組織	38

1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

(1) 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、同法第 26 条の規定に基づき、平成 29 年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

(2) 点検及び評価の対象

平成 29 年度の「教育行政執行方針」に基づき教育委員会が実施した主な事務・事業を対象として、自己点検及び自己評価を行います。

又、教育委員会や各種審議会の会議の開催状況や教育委員の活動状況、児童生徒の部活動等における活動状況なども評価の対象としています。

(3) 点検及び評価の方法

(ア) 点検及び評価の観点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、事務・事業等については、事業の実績や成果等から達成度及び効果度に着目して評価し、そのうえで総合評価を行い、課題等を踏まえ、今後の取組の方向性や方策等を明らかにしています。

(イ) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や事務・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

2 教育委員会会議等の開催状況

平成 29 年度における教育委員会会議及び教育委員会が所掌する各種審議会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員会会議開催状況

①教育委員会会議

区 分	期 日	付 議 事 件
第 4 回	平成 29 年 5 月 19 日	・平成 29 年度要保護準要保護児童生徒の認定について ・南富良野町立学校運営協議会規則の一部改正する規則の制定について
第 5 回	平成 29 年 6 月 9 日	・平成 29 年度学校職員の人事について ・平成 29 年度要保護準要保護児童生徒の認定について ・平成 29 年度教育費等の補正予算について
第 6 回	平成 29 年 8 月 23 日	・平成 30 年度から使用する小学校用教科用図書（道徳）の採択について
第 7 回	平成 29 年 9 月 29 日	・平成 29 年度要保護準要保護児童生徒の認定について ・南富良野町教育振興計画の策定について ・南富良野町小中高連携教育推進基本計画の策定について
第 8 回	平成 29 年 10 月 27 日	・平成 29 年度要保護準要保護児童生徒の認定について ・平成 28 年度南富良野町教育行政評価報告書の提出について
第 9 回	平成 29 年 12 月 7 日	・平成 29 年度教育費の補正予算（第 2 号）について ・指定管理者候補者の選定について（北落合除雪管理センター） ・指定管理者候補者の選定について（落合地区多目的センター） ・指定管理者候補者の選定について（金山地区コミュニティセンター） ・指定管理者候補者の選定について（下金山地区多目的センター）

2 教育委員会会議等の開催状況

		・指定管理者候補者の選定について (南富良野町町民体育館) ・指定管理者候補者の選定について (空知川スポーツリンクス) ・指定管理者候補者の選定について (かなやま湖スポーツ研修センター) ・平成 29 年度全国学力・学習状況調査における南富良野町の結果について
第 1 回	平成 30 年 1 月 25 日	・南富良野町奨学資金貸付条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
第 2 回	平成 30 年 2 月 27 日	・平成 30 年度要保護準要保護児童生徒（新入学分）の認定について ・平成 29 年度教育費等の補正予算（第 3 号）について ・平成 30 年度教育費等の予算について ・学校運営協議会の設置について
第 3 回	平成 30 年 3 月 28 日	・教職員人事異動について ・教育委員会の人事について ・事務局組織規則の一部変更について ・平成 30 年度要保護準要保護児童生徒（修学旅行分）の認定について

教育委員会会議は、月 1 回程度開催することとしておりますが、平成 29 年度は 9 回を開催し、教育に関する様々な案件について検討し、議論・議決を行いました。

会議については教育委員会の合議制の観点から全ての委員が出席した中で各種議題の審議を行うよう開催日時の調整に努めます。

今後においても、教育を取り巻く課題等に対応した施策の推進に向けて、十分な議論や審議を行っていく必要があると考えています。

2 教育委員会会議等の開催状況

(2) 各種委員会等開催状況

①南富良野町総合教育会議

区 分	期 日	協 議 事 項
第 1 回	平成 30 年 3 月 28 日	・ 教育大綱の一部改正について ・ 千里大学作成の災害紙芝居について

②いじめ対策協議会

区 分	期 日	協 議 事 項
第 1 回	平成 29 年 12 月 4 日	・ いじめ防止に係る取組みについて ・ いじめ問題の現状について ・ 関係機関等の取組みについて

③社会教育委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	平成 30 年 3 月 7 日	・ 第 7 次南富良野町社会教育中期計画について ・ 社会教育・社会体育事業について
第 2 回	平成 30 年 3 月 29 日	・ 第 7 次南富良野町社会教育中期計画について

③スポーツ推進委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	平成 29 年 11 月 20 日	・ 平成 29 年度上半期社会体育事業実施報告について ・ 平成 29 年度下半期社会体育事業計画について ・ 平成 30 年度社会体育事業の方向性について
第 2 回	平成 30 年 3 月 26 日	・ 平成 29 年度下半期社会体育事業実施報告について ・ 平成 30 年度社会体育事業について

④文化財審議会

区 分	期 日	協 議 事 項
第 1 回	平成 30 年 3 月 29 日	・ 郷土資料室の在り方（移転）について

2 教育委員会会議等の開催状況

教育委員会に設置している主な審議機関等では様々な議題について審議をしてきており、各種会議においては、予定通り開催され、各種議題の審議等を行いました。

今後は、各審議機関等において審議を深め、南富良野町の教育の推進を図っていきます。

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

平成 29 年度における教育長及び教育委員の主な活動状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員の活動実績

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 29 年 4 月 4 日	平成 29 年度教職員辞令交付式及び着任式	役場大会議室
平成 29 年 4 月 6 日	南富良野小学校入学式	南富良野小学校
	南富良野西小学校入学式	南富良野西小学校
	南富良野中学校入学式	南富良野中学校
平成 29 年 4 月 7 日	南富良野町婦人団体連絡協議会総会	情報プラザ
平成 29 年 4 月 10 日	南富良野高等学校入学式	南富良野高等学校
平成 29 年 4 月 11 日	上川管内教育委員会教育長会議	旭川市
平成 29 年 4 月 13 日	千里大学始業式	情報プラザ
平成 29 年 4 月 15 日	北海道カヌー協会総会	札幌市
平成 29 年 4 月 17 日	上川管内教育委員会連合会総会並びに委員研修会	旭川市
平成 29 年 4 月 20 日	町村立高等学校自治体連絡協議会総会	札幌市
平成 29 年 4 月 28 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
平成 29 年 5 月 12 日	南富良野町特別支援連絡協議会総会	南富良野中学校
	学校経営指導訪問	南富良野小学校・南富良野中学校
平成 29 年 5 月 15 日	北海道文教施設整備期成会総会	札幌市
平成 29 年 5 月 17 日	自治会代表者会議	情報プラザ
平成 29 年 5 月 24 日	本部町親善交流随行者説明会	旭川市
平成 29 年 5 月 28 日	南富良野中学校体育祭	南富良野中学校

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 29 年 5 月 31 日	富良野広域連合教育委員会	富良野市
平成 29 年 6 月 2 日	北海道高等学校カヌー選手権大会兼全国高等学校総合体育大会カヌー競技北海道予選会	かなやま湖
平成 29 年 6 月 4 日	南富良野小学校運動会	南富良野小学校
平成 29 年 6 月 6 日	第 6 地区教科用図書採択教育委員会協議会	旭川市
平成 29 年 6 月 9 日	教育委員学校訪問	町内各学校
平成 29 年 6 月 11 日	南富良野西小学校運動会	南富良野西小学校
平成 29 年 6 月 19 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
平成 29 年 6 月 23 日～ 平成 29 年 6 月 24 日	富良野地区中体連球技大会	富良野市他
平成 29 年 6 月 26 日～ 平成 29 年 6 月 30 日	本部町親善交流事業	沖縄県本部町他
平成 29 年 7 月 6 日	町制施行 50 周年記念実行委員会	役場大会議室
平成 29 年 7 月 8 日～ 平成 29 年 7 月 9 日	南富良野高等学校学校祭	南富良野高等学校
平成 29 年 7 月 10 日	第 54 回北海道市町村教育委員研修会	札幌市
平成 29 年 7 月 24 日	第 6 地区教科用図書採択教育委員会協議会	旭川市
平成 29 年 7 月 27 日	上川管内校長会南部地区研修会	南富良野西小学校
平成 29 年 8 月 1 日	子ども朝活事業	町民体育館
平成 29 年 8 月 6 日	第 6 地区教科用図書採択教育委員会協議会	旭川市
平成 29 年 9 月 16 日	南富良野中学校学校祭	南富良野中学校
平成 29 年 9 月 27 日	富良野広域連合教育委員会	富良野市
平成 29 年 10 月 4 日	町制施行 50 周年実行員会	役場大会議室

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 29 年 10 月 6 日	上川管内教育研究会南部地区研究大会	南富良野小学校
平成 29 年 10 月 12 日	上川管内教育委員会教育長部会研修会	和寒町
平成 29 年 10 月 13 日	小中学生文化発表会及びバイキング給食	町民体育館
平成 29 年 10 月 15 日	町民フロアカーリング大会	町民体育館
平成 29 年 10 月 21 日	南富良野小学校学芸会	南富良野小学校
平成 29 年 10 月 26 日	北海道教育委員会教育長部会研修会	札幌市
平成 29 年 10 月 30 日	上川管内教育委員会連合会第 2 回委員研修会	東川町
平成 29 年 11 月 1 日	町制施行 50 周年記念式典	保健福祉センター
	町表彰式	保健福祉センター
平成 29 年 11 月 3 日	南富良野町文化協会発表会	保健福祉センター
平成 29 年 11 月 8 日～ 平成 29 年 11 月 9 日	千里大学宿泊研修	阿寒町
平成 29 年 11 月 11 日	南富良野西小学校学芸会	南富良野西小学校
平成 29 年 11 月 12 日	防犯と交通安全の住民集会	保健福祉センター
平成 29 年 11 月 14 日	ふらの塾舞台公演	保健福祉センター
平成 29 年 11 月 17 日	富良野広域連合教育委員会及び総合教育会議	富良野市
平成 29 年 11 月 22 日	南富良野町へき地複式教育研究連盟研究大会	南富良野西小学校
	高齢者事業団 20 周年記念式典	保健福祉センター
平成 29 年 11 月 23 日	日本ハム野球教室	南富良野高等学校
平成 29 年 11 月 30 日	学校経営指導訪問（第 2 次訪問）	南富良野小学校・ 南富良野中学校
平成 29 年 12 月 3 日	山口剛史選手壮行会	保健福祉センター

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 29 年 12 月 4 日	いじめ対策会議	役場大会議室
平成 29 年 12 月 7 日	教育委員学校訪問	町内各学校
平成 29 年 12 月 12 日	教育支援委員会	役場大会議室
平成 29 年 12 月 19 日	上川管内教育長会議	旭川市
平成 29 年 12 月 25 日 ～ 平成 29 年 12 月 27 日	子ども朝活事業	町民体育館
平成 30 年 1 月 7 日	平成 30 年成人式	保健福祉センター
平成 30 年 1 月 22 日	福井県・名寄市教職員視察研修報告会	南富良野小学校
平成 30 年 1 月 29 日 ～平成 30 年 2 月 2 日	本部町親善交流（冬の体験の翼）事業	南富良野小学校他
平成 30 年 2 月 5 日	富良野広域連合教育委員会	富良野市
平成 30 年 2 月 9 日	上川南部教育委員研修会	占冠村
平成 30 年 2 月 17 日～ 平成 30 年 2 月 21 日	平昌オリンピック（カーリング）応援	韓国
平成 30 年 3 月 1 日	南富良野高等学校卒業式	南富良野高等学校
平成 30 年 3 月 14 日	南富良野中学校卒業式	南富良野中学校
平成 30 年 3 月 16 日	南富良野小学校卒業式	南富良野小学校
平成 30 年 3 月 17 日	南富良野西小学校卒業式	南富良野西小学校
平成 30 年 3 月 22 日	千里大学卒業式	役場大会議室
平成 30 年 3 月 27 日	上川管内教育長会議	旭川市
平成 30 年 3 月 28 日	南富良野町総合教育会議	役場中会議室
	平成 29 年度教職員退職辞令交付式及び教職員離任式	役場大会議室

教育委員会には、地域全体の教育、学術、文化、スポーツの振興を図るという社会的な使命があり、総合的な視点に立って活動していく必要があります。

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

教育委員は、会議における審議以外に教育現場を訪問することや、各種行事や研修会等に参加することで、教育現場の状況の把握及び教育委員としての能力向上に努めています。

今後も教育現場の訪問や研修会等に積極的に参加し、教育に関する課題の把握に努め教育委員会に期待される役割、機能を十分果たしていくよう活動して参ります。

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

平成 29 年度における児童生徒の部活動等における活動状況は、次のとおりです。

（１）少年団活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野球スポーツ少年団	20人	○スポーツショップ MINO 杯少年野球大会 ○全日本学童野球大会富良野支部予選会 ○全道少年軟式野球富良野支部大会 ○太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜富良野大会 ○富良野沿線少年野球リーグ戦 ○富士スポーツ杯争奪少年大会 ○トップボール杯争奪少年野球大会 ○富良野沿線少年野球新人戦大会 ○富良野沿線秋季学童野球交流大会
バレーボールスポーツ少年団	9人	○富士スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○三野スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○道新カップバレーボール大会富良野地区予選会 ○富良野地区小学生バレーボール大会 ○富良野市スポーツ少年団本部小学生バレーボール大会 ○スポーツショップ三野杯小学生バレーボール大会
カーリングスポーツ少年団	13人	【小学生のみ】 ○おさだグループ杯 U-12 カーリング大会 2018 【小・中学生】 ○町制施行 50 周年記念北海道新聞社杯南富良野ジュニアカーリング選手権大会 ○北海道ジュニアカーリング大会 ○ゆっく・南ふらのカップカーリング大会 ○道央ブロックジュニア選手権大会 ○妹背牛ロータリークラブ杯ジュニアカーリング大会 ○フレンドシップジュニアカーリング大会
スキースポーツ少年団	13人	【小学生】 ○かなやま湖ジュニアGS大会 ○ハウスカップ決勝大会 ○全道かもい岳ジュニア大会 【小・中学生】 ○ジュニアオリンピック

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

（２）南富良野中学校部活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野球部	17人	○富良野沿線中学軟式野球大会 ○全日本少年軟式野球支部大会 ○富良野連盟会長杯少年野球大会 ○中体連富良野地区軟式野球大会 ○全道中学生軟式野球大会 ○ロータリークラブ杯中学野球大会 ○富良野沿線中学軟式野球新人戦
卓球部	13人	○富良野沿線春季卓球大会 ○道新杯争奪卓球大会 ○中体連富良野地区卓球大会 ○ニッタク杯争奪卓球大会 ○北海道卓球選手権大会 ○紅葉杯争奪卓球大会 ○会長杯争奪卓球大会 ○沿線中学新人戦兼 VICTAS 杯卓球大会 ○かわむら杯争奪卓球大会 ○友愛杯争奪卓球大会
ソフトテニス部	9人	○春季富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○中体連富良野地区ソフトテニス大会 ○上川管内代表決定戦ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス新人戦 ○富良野沿線中学生インドアソフトテニス大会 ○中学校指導者協議会杯中学生インドアソフトテニス大会 ○三野スポーツ杯中学生インドアソフトテニス大会
バレー部	4人	○くまげら杯中学校親睦バレーボール大会 ○中体連富良野地区バレーボール大会 ○富良野Vリーグ ○体育の日記念バレーボール大会 ○富良野地区中学校新人戦バレーボール大会 ○ALL KAMIKAWA 中学バレーボール大会 ○富士スポーツ杯中学生親睦バレーボール大会

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

吹奏楽部	18人	○旭川吹奏楽祭 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○北海道アンサンブルコンクール旭川地区予選 ○富良野地区吹奏楽祭
陸上部（季節部）	2人	○富良野地区中学校陸上競技大会
剣道部（季節部）	2人	○中体連富良野地区剣道大会 ○上川代表決定戦中体連剣道大会 ○上川管内中体連剣道大会新人戦
スキー部（季節部）	4人	○中体連富良野地区スキーアルペン大会 ○北海道中学校スキー大会アルペン競技 ○全国中学校スキー大会アルペン競技

（3）南富良野高等学校部活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
バトミントン部	11人	○高体連予選 ○新人戦予選
卓球部	11人	○高体連予選 ○新人戦予選 ○国体道予選
カヌー部	11人	○高体連全国大会 ○国体全国大会 ○道カヌースプリント短距離選手権大会 ○高体連全国大会（クロスカントリースキー）
カーリング部	7人	○世界ミックスカーリング選手権大会 ○道央ブロックジュニア大会 ○全道高校選手権大会 ○全国高校選手権大会 ○南富良野ジュニア大会
吹奏楽部	10人	○学校祭における発表 ○高文連上川支部音楽発表大会 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○オータムコンサート ○富良野地区吹奏楽祭

4 児童生徒の活動状況（部活動等）

資格取得部	4人	○日本語ワープロ検定 ○全経簿記能力検定 ○情報処理技能検定 ○硬筆書写技能検定 ○実用英語検定 ○漢字能力検定 ○語彙・読解力検定 ○数学技能検定
-------	----	--

（4）部活動等の活動状況について

教育委員会としては、児童生徒の体力の向上及び運動能力の増進並びに文化活動の助長を図ることを目的として少年団活動に対する補助金の交付や中学校及び高等学校における部活動に対する財政的支援を行っております。

今後も、児童生徒が健康で明るく活気に満ちた生活を送ることのできる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えており、引き続き体育・文化活動に対する支援を行って参ります。

5 教育行政執行方針の概要

平成 29 年度の南富良野町教育行政執行方針では、分野ごとの基本目標を示しています。

○新教育委員会制度のもと、町長の総合教育会議等、町長との連携強化を図り、教育行政の担い手として、使命感をもって教育の充実に取り組んでまいります。

○学校教育

① 確かな学力を育む教育の推進

- ・基礎学力の定着を図る。
- ・ICT 機器の活用や土曜授業の実施するほか、小中校連携の取組を推進する。
- ・教師力の向上を図る。
- ・学校での工夫した読書活動を展開する。

② 豊かな心と健やかな体の育成

- ・体力づくり・運動習慣づくりに取り組む。
- ・情報メディアとの関わり方や理解を深める。
- ・いじめの未然防止に取り組む。
- ・支援を要する児童生徒への支援の充実を図る。

③ 信頼される学校づくり

- ・コミュニティスクールの導入準備を進める。
- ・安全教育を実施する。
- ・給食業務の安全な供給体制を推進する。
- ・学校給食費を助成する。

○高等学校

小さな学校だからできる授業をめざし、地域と共に歩む高校をめざす。

- ①生徒個々に応じた多様な指導や進路に応じた教育活動を実践する。
- ②各種補助・助成事業を継続して実施する。
- ③学力向上策や部活動における中高連携事業を充実させ、地元志願者を確保する。
- ④校舎及び体育館の耐震診断を実施する。

○生涯学習

町民が生涯を通じて学び、その成果を生かすことができる環境をつくり、楽しさや喜びを実感しながら、いつでも、どこでも学ぶことができる生涯学習の推進を図る。

①家庭教育の取組み

- ・放課後子ども教室の充実を図る。
- ・子ども朝活事業を実施する。

5 教育行政執行方針の概要

- ・家庭学習の習慣定着と望ましい生活リズムの定着を推進する。

②青少年教育

- ・沖縄県本部町との親善交流事業を実施する。

③成人教育

- ・ネットワーク形成の場、学習活動の場の提供及び自主活動の支援をする。
- ・英会話教室を継続して実施する。
- ・千里大学の学習の場及び生活体験や人生経験を生かす機会の場を提供する。

④芸術文化の振興

- ・団体、サークルの支援を継続し、鑑賞事業を充実する。
- ・地域ボランティアなどにより本にふれあう機会を充実する。
- ・巡回図書を実施し、図書サービスの向上に努める。
- ・地域特性を活かす公民館事業を活発化させ、地域の教育力を高める。
- ・本町の歴史、文化遺産を知る機会の提供と郷土学習としての活用を図る。

⑤体育・スポーツの振興

- ・体育関係団体等との連携、協力による各種スポーツ教室、大会を実施する。
- ・アスリート派遣補助金を継続する。
- ・スポーツ少年団活動をする子どもたちの保護者に対し大会参加のための支援を継続する。
- ・スポーツ施設の指定管理者と連携し、スポーツ施設の有効活用を推進する。

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

平成 29 年度の南富良野町教育行政執行方針で示された分野ごとの事業目標に基づき実施した次の事務・事業を点検・評価の対象としています。

番号	事業区分	事業名・事業目標
1	学校教育	確かな学力を育む
1-1	学校教育	学力の向上の取組
1-2	学校教育	土曜授業の実施
1-3	学校教育	小中高連携の推進
2	学校教育	豊かな心と健やかな体を育む
2-1	学校教育	いじめを防止する取組
2-2	学校教育	体力・運動能力の向上の取組
2-3	学校教育	部活動支援の取組
3	学校教育	だれもが輝く教育の推進
3-1	学校教育	特別な支援を要する児童生徒への支援の充実
4	学校教育	信頼される学校づくりの推進
4-1	学校教育	教師力向上の取組
5	学校教育	教育環境の充実
5-1	学校教育	学校営繕等の取組
5-2	学校教育	ICT 機器の活用
5-3	学校教育	安全・安心の学校給食の提供
6	学校教育	学校・家庭・地域の連携・協働による教育の推進
6-1	学校教育	コミュニティスクールによる学校づくり
7	学校教育	南富良野町の特性をいかした教育の推進
7-1	学校教育	環境教育の推進
8	高等学校	高等教育の推進
8-1	高等学校	魅力ある学校づくり
8-2	高等学校	就学支援の取組
8-3	高等学校	部活動支援の取組
8-4	高等学校	進路支援の取組
9	生涯学習	家庭教育の推進
9-1	生涯学習	放課後子ども教室の活動
9-2	生涯学習	子ども朝活事業の実施

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

番号	事業区分	事業名・事業目標
1 0	生涯学習	少年教育の推進
10-1	生涯学習	本部町親善交流事業の実施
1 1	生涯学習	青年教育の推進
11-1	生涯学習	青年教育の充実
1 2	生涯学習	成年教育の推進
12-1	生涯学習	成年教育の充実
1 3	生涯学習	高齢者教育の推進
13-1	生涯学習	千里大学の充実
1 4	生涯学習	芸術文化の振興
14-1	生涯学習	芸術・文化の学習機会の充実
1 5	生涯学習	体育の振興
15-1	生涯学習	社会体育事業の充実
1 6	生涯学習	文化財保護の推進
16-1	生涯学習	郷土資料の活用
16-2	生涯学習	文化財の活用
1 7	生涯学習	公民館の充実
17-1	生涯学習	公民館の施設管理
17-2	生涯学習	公民館事業の実施
17-3	生涯学習	図書室の充実

7 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法

教育行政執行方針に位置付けられて実施した主な30の事務・事業等について、事務事業点検評価シートにより「事業名」、「事業目標」の「事務事業実施状況」、「事務事業評価」により課題等を明らかにし、「達成度・効果度・総合」の評価を行います。その後、評価委員の意見を聴取し、「今後の方向性及びその方策等」をまとめ、今後の方向性を見出します。

(1) 評価基準

①達成度評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	実践が進み成果を上げている	実践が進んでいる	実践に努めている	努力を要する

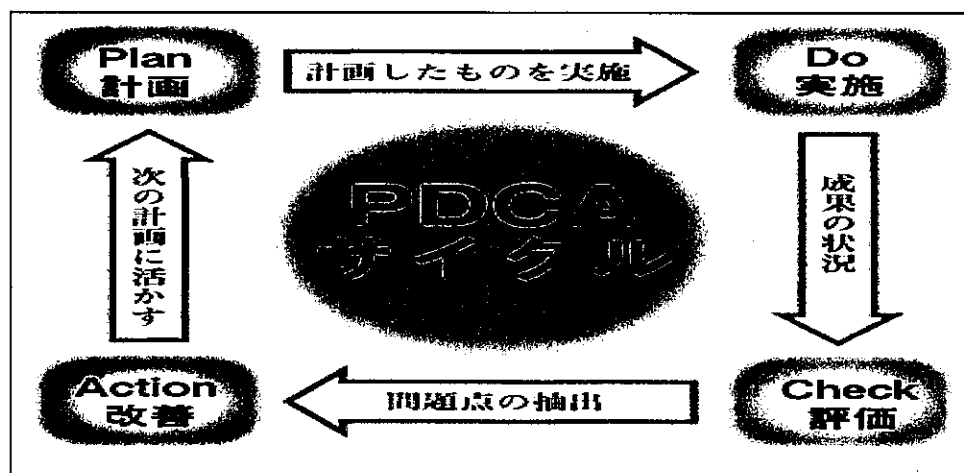
②効果度評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	期待どおりの効果が得られた	効果度が比較的高い	効果度が比較的低い	ほとんど（全く）効果が得られない

③総合評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	高い成果を上げている	成果を上げている	実践に努めている	努力を要する

④事業改善に向けた方法



事務事業点検評価シート

番 号	1-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係		
事 業 名	確かな学力を育む						
事 業 目 標	学力の向上の取組						
事業実施状況	子ども達に格差のない学力向上の取組を実践できるよう、平成29年に南富良野町版「学力向上モデル」を策定した。この学力向上モデルを基に各学校では学力向上プランを策定して取組を推進し、子どもたちの学力向上に努めた。また、各学校では放課後等や長期休業中に補充学習や長期休業中に学習サポートを実施し、児童生徒の基礎、基本の定着に向けた指導を行った。						
事務事業評価	南富良野町版「学力向上モデル」の基本理念をすべての教員が理解し、学力向上の取組みを統一した。			評価委員の意見	学力向上の取組として全教員が進めていると感じる。 継続した取組により、子どもを見ても伸びを感じる。		
				達成度	A	効果度	B
今後の方向性及び方策等	平成29年8月に策定した南富良野町版「学力向上モデル」を全教職員の共通の理解を図るとともに、各学校の学力向上プランを継続して実践する。今後は、学力向上モデルの取組や学力向上効果の検証を実施し、取り組み方の改善及び徹底を図ります。						

番 号	1-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係		
事業名	確かな学力を育む						
事業目標	土曜授業の実施						
事業実施状況	平成29年度各小学校では10回実施し、中学校では2回実施した。 各学校では、土曜授業の内容として、行事や特別授業の実施のみならず、通常教科の授業も行うよう計画し実施した。						
事務事業評価	土曜授業を実施することにより、授業時数を確保するほか、行事や特別授業も実施することができ、ゆとりある教育課程を編成、実施することができた。	評価委員の意見	土曜授業の実施による効果の検証について、南富良野小学校ではアンケートを行い、児童の授業における理解度が向上するほか、学校生活に対する好意的な意見も多く、土曜授業の効果があったとPTA総会で報告された。土曜日は少年団活動や社会教育活動も行われていることから、対外試合等に支障がでることもあり、効果の検証を継続して行うことで、土曜授業を実施していくことを望む。また、検証を行うことで、保護者等の理解も得られる。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	平成26年度から南富良野小学校、平成28年度から南富良野西小学校、平成29年度から南富良野中学校において土曜授業の実施に取組み、基礎・基本の確実な定着に努めている。平成30年度から町内の小学校において、新学習指導要領の完全先行実施を行うにあたり、土曜授業の実施は効果的であり、必要不可欠なものであるため継続して実施する。						

事務事業点検評価シート

番 号	1-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事 業 名	確かな学力を育む								
事 業 目 標	小中高連携の推進								
事業実施状況	平成29年度は南富良野町小中高連携教育推進基本計画の策定年度であり、新たな基本計画により小中高連携教育の推進を図った。 具体的には町内小・中・高等学校が校種間の枠を超えて南富良野町版学力向上モデルを一丸となって取組みを推進したほか、中学校と高等学校が部活動を連携して実施した。								
事務事業評価	前次推進計画の見直しを図り、平成29年8月に小中高連携教育推進基本計画を策定した。学校種間の枠を超えて、学力向上への取組み「町学力向上モデル」を推進するとともに、「町学習課程スタンダード」により統一した授業づくりを進めた。	評価委員の意見	学校種間の枠を超えた小中高連携事業の推進を継続望む。						
		達成度	A	効果度	A	総合	A		
今後の方向性及び方策等	子ども達に格差のない学力向上の取組を実践するためにも、学校種間の枠を超えて一丸となって南富良野町版学力向上モデルに基づいた取組みを実施し、授業づくりを進め、今後も児童生徒の学力向上に努める。 また、各校交流し、児童生徒が身につけるべき知識や技能を指導の連続性・一貫性の視点を明らかにし、小中、中高教員が目標を共有することで教員の指導力の向上につなげる。								

番 号	2-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係			
事 業 名	豊かな心と健やかな体を育む							
事 業 目 標	いじめを防止する取組							
事業実施状況	いじめ防止対策協議会を開催し、各学校で取り組んでいるいじめ実態把握調査の結果により町内各学校のいじめの状況等を把握、共有し、未然防止に向けての取り組みを協議した。							
事務事業評価	学校が各児童生徒に行ういじめ把握のための調査等により町内各学校のいじめの状況を把握し共有した。学校外で起きうるいじめについても情報を共有し、未然防止に向けた取組について協議できた。	評価委員の意見	いじめの未然防止に向けた取組みの継続を望む。					
		達成度	A	効果度	A	総合	A	
今後の方向性及び方策等	いじめ対策協議会を開催し町内各学校の状況を把握、共有するほか、いじめの未然防止に向けた取組みを継続して実施する。							

事務事業点検評価シート

番 号	2-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事 業 名	豊かな心と健やかな体を育む								
事 業 目 標	体力・運動能力の向上の取組								
事業実施状況	毎年、文科省が実施する全国体力・運動能力、運動習慣等調査により各学校では状況を踏まえており、各小中学校では体力を育むための取組をしている。具体的に、体力向上プランや運動記録カードの作成、カヌー、カーリング、スキーなどを授業に取り入れ、体力づくり、運動習慣づくりに取り組んだ。								
事務事業評価	町内小学校では全国体力・運動能力の結果は全国平均を下回る結果が多いが、中学校では全国平均を上回る結果が多かった。体力づくりや運動習慣づくりのため、各小学校では休み時間や放課後等に体力づくりを行っている。	評価委員の意見	学校では、体力・運動能力の向上に向け十分な取組を行っていると感じている。体力テストの結果については、全国平均以下であるが、対象が少ないので平均を気にせず、取り組みを大切にして継続してほしい。一人ひとり結果の伸びが見えればやる気が出て効果が上がると思う。						
			達成度	A	効果度	B	総合	A	
今後の方向性及び方策等	体を動かす習慣づくりのきっかけとして、カヌー、カーリング、スキー授業を取り入れた授業を実施しており、体力・運動能力の向上を図るためには、継続することが大切である。								

番 号	2-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係		
事 業 名	豊かな心と健やかな体を育む						
事 業 目 標	部活動支援の取組						
事業実施状況	中学校の部活動における保護者の経済的負担軽減を図るため、部活動対外試合等参加支援交付金を学校へ交付した。						
事務事業評価	部活動に伴う保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。	評価委員の意見	有意義な支援であり、継続した取組を望む。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	部活動は生徒の自己実現を可能とし、生徒の心と体の成長に効果的であることから、保護者の経済的負担を軽減を図るため、中学校への部活動支援は今後も継続する。						

事務事業点検評価シート

番 号		3-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事 業 名		だれもが輝く教育の推進								
事 業 目 標		特別な支援を要する児童生徒への支援の充実								
事業実施状況	支援の必要な子どもの教育を行うため、平成29年度から中学校に学習支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応える指導を行ってきた。また、個別の支援計画の作成と活用を進め全校体制で支援に努めている。更に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより児童生徒や保護者の困り感や不安に対する相談体制の充実を図り、子どもを取り巻く環境改善、心の成長を支援した。									
事務事業評価	学習支援員の配置やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談体制を充実させたことにより、不登校傾向の生徒が減少し、不安を持つ生徒や保護者を支援することができた。	評価委員の意見	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる相談体制を今後も維持してほしい。							
		達成度	A	効果度	A	総合	A			
今後の方向性及び方策等	支援を要する児童生徒一人ひとりに対し、教育的ニーズに応える指導を今後も継続していくために、今後も学習支援員の配置を継続する他、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した相談体制も継続させる。									

番 号	4-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事 業 名	信頼される学校づくりの推進								
事 業 目 標	教師力向上の取組								
事業実施状況	教職員の指導力向上を図るため、町内小中学校の教員を名寄市の小中学校と福井県へ教育視察に赴かせ、学校経営や授業づくり、生徒指導を学び、教育視察で得た情報を各学校へ還元するため、報告会を開催した。								
事務事業評価	名寄市及び福井県への教育視察後、学んだ学校経営や授業づくり等を報告会を実施し町内教職員に対し還元した。教職員は先進的取組等の情報を共有することで、学校単位で教師力向上を図ることができた。	評価委員の意見	児童生徒の学力を向上させるためにも、継続した取組を望む。						
		達成度	A	効果度	A	総合	A		
今後の方向性及び方策等	学力向上を図るため、平成28年、29年に道外の先進的地域に教員を派遣した。今後は、この2年間の教育視察で学んだ学校経営や授業づくり等を各学校、各教員が実践し、児童生徒の学力向上に努める。 また、教員を2年続けて教育視察へ派遣したため、次の段階として、全ての教員が直接、見聞しことができるよう、学校に講師を招聘した研修等の実施方法を検討する。								

事務事業点検評価シート

番 号	5-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係					
事 業 名	教育環境の充実									
事 業 目 標	学校営繕等の取組									
事業実施状況	中学校の校舎を建築し7年目となったことから、床の維持のため特別清掃を実施したほか、グラウンドの整備を実施した。									
事務事業評価	子どもたちの学ぶ環境を整えるため、計画的に教育環境の整備を実施し、校舎等の維持を図ることができた。			評価委員の意見	今後も計画的な営繕等を行って欲しい。					
				達成度	A	効果度	A	総合	A	
今後の方向性及び方策等	今後も各学校の教育環境を整備し、子どもたちの学ぶ環境を計画的に実施する。 また、学校施設の整備は、平成30年度に施設長寿命化計画を作成し、計画的に施設の維持管理を行う。									

番 号	5-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係					
事業名	教育環境の充実									
事業目標	ICT機器の活用									
事業実施状況	平成28年度に各小学校へタブレット式パソコンに更新し、平成29年度に中学校でタブレット式パソコンに更新した。 各学校には、授業で操作できない児童生徒がでないよう1クラス人数分の台数を配置した。									
事務事業評価	各小・中学校にタブレット式パソコンを導入し、校舎内どこでも使えるよう無線LANを整備した。 また、普通教室分の書画カメラも整備し、児童生徒の理解が深まる効果的な授業の実施を可能とした。	評価委員の意見	ICT機器は充実した環境であると思う。							
		達成度	A	効果度	A	総合	A			
今後の方向性及び方策等	今後は、導入したタブレット式パソコンを授業等で効果的に活用し、児童生徒の学習理解を深める。 既に導入してるeライブラリーを活用し、放課後等に児童生徒が基礎・基本を繰り返し学べる環境整備を図る。									

事務事業点検評価シート

番 号	5-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係					
事 業 名	教育環境の充実									
事 業 目 標	安全・安心の学校給食の提供									
事業実施状況	食中毒の防止、従事者の衛生管理、アレルギーの把握と対応に努め、安全で安心な給食を提供した。地場産品の食材を取り入れ栄養教諭による指導を充実させ、子どもたちが正しい知識や望ましい食習慣の形成と食べ物大切さの理解を深めた。 学校給食費については、引き続き助成を行い、子育て家庭への支援を図った。									
事務事業評価	食中毒の防止や従事者の衛生管理を徹底し、安全安心な給食を提供した。栄養教諭による栄養指導を町内全校で実施し子どもたちは食に対する理解を深めた。学校給食費の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。	評価委員の意見	バランスのとれた給食の提供は優れており、栄養指導等により子どもたちの食に対する正しい理解が深められている。							
			達成度	A	効果度	A	総合	A		
今後の方向性及び方策等	安心安全な給食を提供するためには、食中毒の防止、従事者の衛生管理の徹底を図り、児童生徒のアレルギーの把握と対応が不可欠である。今後も衛生管理の徹底と児童生徒のアレルギー把握等に努めるとともに、栄養教諭による栄養指導を充実させる。									

番 号	6-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事 業 名	学校・家庭・地域の連携・協働による教育の推進								
事 業 目 標	コミュニティスクールによる学校づくり								
事業実施状況	平成28年度に南富良野西小学校にコミュニティスクールが設置され、地域、保護者、学校が一体となり、「地域とともにある学校」づくりをめざし、学校運営に参画し教育活動の充実を図ってきた。平成30年度には南富良野小学校、南富良野中学校にもコミュニティスクールを導入するため、準備等を進めた。								
事務事業評価	南富良野西小学校にコミュニティスクールを設置し2年目となり、地域、保護者、学校が一体となって学校運営に参加してきた。学校運営協議会において出た意見を取り入れ次年度新たな授業の実施を計画した。 平成30年度導入に向けて地域への周知が十分でなかった。	評価委員の意見	地域へコミュニティスクールの内容を理解してもらえるよう周知を行う必要がある。また、学校だより等での情報共有も必要であると思う。						
			達成度	B	効果度	A	総合	A	
今後の方向性及び方策等	平成30年度には、南富良野小学校、南富良野中学校にもコミュニティスクールを設置し、町内全小中学校で地域、保護者、学校が一体となったそれぞれの学校づくりをめざす。 また、コミュニティスクールを理解してもらえるよう、学校だより等を通じ地域への周知を図る。								

事務事業点検評価シート

番 号	7-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事 業 名	南富良野町の特性をいかした教育の推進								
事 業 目 標	環境教育の推進								
事業実施状況	各学校では、子どもたちの成長過程に合わせて町内の川に生息する生物等について学ぶ環境教育を実施したほか、南富良野小、中学校の暖房に使用している木質チップができる過程を施設見学等を行うなどして学習した。 また、南富良野小学校では、エジンバラ公の森において樹木や昆虫の観察を行い、森林学習を行った。								
事務事業評価	児童生徒の成長過程に合わせた環境教育を継続して実施することにより、身近な環境を理解し郷土愛を育むことにつながった。			評価委員の意見	郷土愛を持つことは大切なことであり、環境教育は大変重要な取組である。				
				達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	児童生徒の成長過程に合わせた環境教育を継続して実施することにより、身近な環境の素晴らしさを理解し、郷土に愛着を持つ子どもを育てるために、今後も町内全学校で環境教育を継続する。								

番 号	8-1	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校		
事 業 名	高等教育の推進						
事 業 目 標	魅力ある学校づくり						
事業実施状況	意欲ある生徒が外国の人々とのコミュニケーション能力を培い、異文化体験を通して国際感覚を身につけることを目的としたオーストラリアへの国際交流派遣事業を実施したほか、部活動では道内唯一のカヌーやカーリング部を設置、授業においてもカヌーやカーリングを行うなど、南富良野町高校の魅力ある学校づくりのため継続して実施した。 また、高校の魅力づくりを推進するため、プロジェクト会議や学校及び教育委員会が一体となり検討を進めた。						
事務事業評価	国際交流事業の継続した実施やカヌー、カーリング部の設置、更にカヌー、カーリング授業の実施など他の高校にないスポーツの体験ができる高校として沿線から理解されている。	評価委員の意見	進学者にアンケートを実施するなどして進学理由を把握し、進学率向上を図るべきである。部活動だけで進学者を集めるのは中々難しいと思われ、プロジェクト会議で検討することも重要である。また、子どもたちには助成が魅力としては映っていないことから、学力を上げることも魅力につながると思う。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	圏域的にも生徒数が減少していく中、今後も地元中学校から進学率向上を図られるよう、進学したいと思える魅力的な高校づくりを進める。						

事務事業点検評価シート

番 号	8-2	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業名	高等教育の推進				
事業目標	就学支援の取組				
事業実施状況	生徒一人ひとりの能力や適性、進路に応じた教育活動を実施するとともに、豊かな心の育成を目指して様々な活動を体験させ、地域の特色を生かした学校づくりに努めた。 また、教科書購入費、各種検定料、介護職員初任者研修の受講料の補助や通学費の助成を引き続き行ったほか、平成30年度から地元中学校からの進学を推進を図ることを目的とした制服購入費の全額助成をするための制度の整備を平成29年度に行った。				
事務事業評価	各生徒の進路目標に合わせた類型選択、また各種資格取得検定料、介護職員初任者研修受講料補助や通学費助成のほか、全学年の教科書購入費補助の実施により、保護者の負担軽減を図ることができた。	評価委員の意見	保護者の負担軽減は図られている。		
		達成度	A	効果度	A
今後の方向性及び方策等	今後も引き続き、保護者負担の軽減を図る取り組みを継続しつつ、より進学したい高校となるような方策を検討し進めていく。				

番 号	8-3	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業名	高等教育の推進				
事業目標	部活動支援の取組				
事業実施状況	中高連携事業により部活動の充実を図るほか、全道・全国大会出場に伴う参加費用など、支援を継続した。				
事務事業評価	各部活動に対し、教育振興会を通じてカヌー部の全国大会出場、カーリング部の全国大会、世界大会に対する支援を行った。	評価委員の意見	参加費用の支援のほか、複数の部活動を希望する生徒が、活動しやすい環境を整える支援も必要であると思う。		
		達成度	A	効果度	A
今後の方向性及び方策等	引き続き、各部活動の充実及び全道大会等の参加費用について支援を継続する。また、中高の連携が図られるよう取組を進め、部活動がしやすい環境づくりに向け取り組む。				

事務事業点検評価シート

番 号	8-4	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校		
事 業 名	高等教育の推進						
事 業 目 標	進路支援の取組						
事業実施状況	一人ひとりの進路に応じた教育活動を実施するため、数学、英語の授業では類型別授業を実施している。						
事務事業評価	生徒の進路目標に対応した効果的な学習を行うため、2学年から進学コース及び就職コースのいずれかを選択し、進路の実現に向けた学習を進めた。	評価委員の意見	一人ひとりに応じた進路支援の継続を望む。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	生徒の進路目標実現に向けて、類型別のほか習熟度にあった指導を行い、学習意欲の向上や苦手科目の克服を図る。また、6校時終了後の10分学習や長期休業中における講習を行っていくほか、学習支援員を配置し、授業をサポートしていく。						

番 号	9-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事 業 名	家庭教育の推進						
事 業 目 標	放課後子ども教室の活動						
事業実施状況	放課後における子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、南富良野小学校及び南富良野西小学校内において放課後子ども教室を開設し、運動教室・交流活動を実施した。 (南小「ジャングルクラブ」H27～開設・西小「フレンド」H28～開設)						
事務事業評価	放課後における子どもたちの安全な居場所として成果を上げているが、今後の教室スタッフ(地域人材)の確保が課題である。	評価委員の意見	共働き世帯が多い現状で、大変重要な事業であり、成果が得られていると感じる。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	放課後子ども教室スタッフ(地域人材)を確保しながら、子どもたちの安全な居場所づくりと、様々な活動機会の提供を行いながら、継続して実施していきます。						

事務事業点検評価シート

番 号	9-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係			
事 業 名	家庭教育の推進							
事 業 目 標	子ども朝活事業の実施							
事業実施状況	夏休み・冬休みにおける児童の望ましい生活習慣の確立のため、高校生や地域ボランティアの支援を得て、子ども朝活事業「南ブ塾」を開催し、学習や運動を通して規則正しい生活習慣の定着推進と体験活動機会の提供を図るため実施した。							
事務事業評価	規則正しい生活習慣の定着推進のきっかけづくりとしては成果を上げている	評価委員の意見	生活習慣づくりのきっかけとして効果的である。家庭教育支援へ結びつける方策を期待する。					
		達成度	A	効果度	A	総合	A	
今後の方向性及び方策等	関係協力機関や学校と連携しながら、実施内容等についての協議を行い事業を継続していきます。							

番 号	10-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係			
事 業 名	少年教育の推進							
事 業 目 標	本部町親善交流事業の実施							
事業実施状況	平成29年度は6月26日から6月30日まで5日間、南富良野町の6年生全員と引率5名による親善交流団で本部町を訪問し、平成30年1月29日から平成30年2月2日までの5日間、本部町親善交流団21名の受入をした。(※27回目の交流事業)							
事務事業評価	友好の町沖縄県本部町との交流事業を通して、両町の異なる自然や生活文化に触れ、様々な体験をすることで、見聞を広め豊かな心を養う事業として大きな成果を上げている。	評価委員の意見	有意義な事業であり、今後も継続を望む。					
		達成度	A	効果度	A	総合	A	
今後の方向性及び方策等	風土・歴史・生活文化の違い等を自ら体験し、学ぶことは貴重な経験となり長期間親元を離れ生活することで大きな自信にも繋がることから、今後も両町の交流を深めながら、大人同士の交流も視野にいれ事業を継続していきます。							

事務事業点検評価シート

番 号	11-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事 業 名	青年教育の推進						
事 業 目 標	青年教育の充実						
事業実施状況	次代のまちづくりを担う世代が、自らの知識とスキルの向上を図り、青年同士のネットワークを形成するため、富良野沿線の広域事業を利用するなどして学習・交流活動の提供に努めた他、各種団体等の自主的な活動支援を実施した。						
事務事業評価	様々なイベントを実施する中で、青年同士の職域を越えた仲間づくりの実践を実施してきたが、参加者に偏りがあることが課題である。	評価委員の意見	ネットワークを使い、幅広く参加者を募りながら事業を行っており、今後も継続を望む。				
		達成度	A	効果度	B	総合	A
今後の方向性及び方策等	様々なイベントを実施する中で青年同士のネットワーク形成の場を提供するとともに、各種団体と連携しながら社会教育事業の推進及び自主的な活動支援に努め事業を継続していきます。						

番 号	12-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事業名	成年教育の推進						
事業目標	成年教育の充実						
事業実施状況	町内で活動する各団体へ財政的な支援を実施した他、女性団体と連携した社会教育事業の取り組みを実施した。 (沖縄県本部町親善交流事業における郷土料理及びカレーライスの提供協力)						
事務事業評価	団体活動の活性化及び課題であった女性団体と連携した社会教育事業へ取り組むことができた。	評価委員の意見	新たな取組みにより活動の充実が図られている。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	団体活動の活性化を図るため財政的な支援を継続するとともに、連携した社会教育事業の取り組みを進めていきます。						

事務事業点検評価シート

番 号	13-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係			
事 業 名	高齢者教育の推進							
事 業 目 標	千里大学の充実							
事業実施状況	高齢期における地域の仲間づくり、自己の特性・経験を活かし、生きがいや楽しみを求めて学習する場として、専任講師(生涯学習支援員)を配置し、学習内容の充実・自主活動の推進に努めながら事業を実施した。(※月2回授業実施)							
事務事業評価	自己の特性を活かした自主活動やクラブ活動の推進により、地域活動等(行事・慰問)へ参加する機会が増えたことが大きな成果であるが、継続した取り組みと入学者の確保が今後の課題である。	評価委員の意見	高齢者の生きがいづくりの場として有意義である。					
		達成度	A	効果度	A	総合	A	
今後の方向性及び方策等	高齢者の持つ豊かな生活体験や経験を次世代に伝えていくことは、極めて重要なことであるため、発表機会・授業内容の充実を図り継続した入学者を確保しながら、生きがいや楽しみを見出す場として継続して事業を実施していきます。							

番 号	14-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事業名	芸術文化の振興						
事業目標	芸術・文化の学習機会の充実						
事業実施状況	趣味の学習や文化活動に対する関心が高まり、関係団体との協力を深め、町民の主体的な文化活動を支援した。また、町民の芸術・文化を身近に親しむ機会づくりの推進として、北海道舞台塾(富良野塾OBユニット演劇公演)及び小学生を対象とした北海道巡回小劇場公演(音楽)を開催したほか、町制施行50周年記念事業として文化講演会を実施した。(富良野塾OBユニット公演は、町制施行50周年記念事業として町民無料として実施)						
事務事業評価	普段、舞台芸術を鑑賞する機会の少ない町民へ身近に本物の舞台芸術を親しむ機会づくりの提供として有効な事業である。	評価委員の意見	町民が芸術・文化に親しむ機会を継続して取組ことを望む。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	地域に根付いた創造的な文化活動の促進を図るため、町文化協会を中心としたサークル活動等が重要であることから、団体活動の活性化に向けた取組みを支援し、鑑賞や発表機会の提供等に努めます。また、町民に芸術・文化を身近に親しむ機会を提供するため、多くの方に鑑賞していただける内容を検討しながら舞台芸術を鑑賞する機会の提供を継続します。						

事務事業点検評価シート

番 号	15-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事 業 名	体育の振興						
事 業 目 標	社会体育事業の充実						
事業実施状況	町体育協会やスポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ「ゆっく」などと連携し、町民の健康増進・体力向上及びスポーツの振興を図るため、各種スポーツ大会等を実施した。 (実施内容:町民登山、町民フロアカーリング大会、町民ミニバレーボール大会、町民スキー教室) 各種スポーツ競技における全国・全道大会等へ出場する経費の一部助成(アスリート派遣補助金)を行い、保護者負担の軽減と町民のスポーツ活動への支援を実施した。						
事務事業評価	既存のスポーツ大会等については、回数を重ね成果を上げてきており、競技によっては参加者が増加している。	評価委員の意見	スポーツ推進委員の研修会に積極的に参加し、ニュースポーツを普及する等の取組を望む。 アスリート補助金は効果的である。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	人間関係が希薄化する中、スポーツを通して世代を越えた地域や職場のコミュニティーづくりの推進として、町内スポーツ関係団体と連携し、競技種目によっては団体へ移管しながら継続して町内のスポーツの普及促進に努めていきます。また、ニュースポーツの普及についても、スポーツ推進員と連携し普及に取り組むよう進めます。						

番 号	16-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事 業 名	文化財保護の推進						
事 業 目 標	郷土資料の活用						
事業実施状況	本町の歴史を伝えるため、高齢者研修センター2階に郷土資料室を設置し、観覧希望者へ開放を実施した。また、平成28年8月に発生した台風災害により、高齢者研修センター1階部分が壊滅的な被害を受け施設の解体についての方向性が示されたため、郷土資料室の移転について検討を行った。 ※H29利用実績:1件 13人(小学3年生の郷土学習で利用)						
事務事業評価	町民の方が、いつでも気軽に観覧することができる場所の選定及び環境づくりが必要である。	評価委員の意見	新たな展示場所が確保され、今後活用に期待する。				
		達成度	B	効果度	B	総合	B
今後の方向性及び方策等	文化財審議会委員からの助言を受け、既存の郷土資料を厳選し平成30年度から町民体育館へ郷土資料室を移転させ、いつでも誰でも利用できる環境整備を行います。						

事務事業点検評価シート

番 号	16-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係			
事 業 名	文化財保護の推進							
事 業 目 標	文化財の活用							
事業実施状況	先人の労苦を後世に語り、町民が郷土愛を持つことができるよう、本町の歴史や文化遺産を知る機会の提供として、千里大学の公開授業の位置づけで史跡めぐりを実施した。 また、町の指定無形文化財である「幾寅獅子舞」の活動に対する財政支援を実施した他、保存会と連携した社会教育事業の取り組み(沖縄県本部町親善交流事業や町制施行50周年記念式典における演舞)を実施した。							
事務事業評価	本町の歴史や文化遺産を知る良い機会となった。	評価委員の意見	史跡の活用については、一般参加を募るのは難しいと思うが、千里大学の授業として継続した取組は大切である。					
		達成度	A	効果度	B	総合	A	
今後の方向性及び方策等	本町の歴史や文化遺産を知る機会として、継続し実施していきます。							

番 号	17-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事業名	公民館の充実						
事業目標	公民館の施設管理						
事業実施状況	各地区公民館については、各地域の自治会へ指定管理により適正な施設管理に努めている。 また、平成29年度は下金山地区公民館分館の屋上防水等工事を実施し、公民館施設機能の維持促進を図った。						
事務事業評価	指定管理により適正な施設管理の推進及び利用しやすい環境整備が図られている。	評価委員の意見	計画的な維持補修や適正な管理を望む。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	年次計画により施設の維持補修に努めながら、各地域と連携し適正な施設管理を維持していきます。						

事務事業点検評価シート

番 号	17-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事 業 名	公民館の充実						
事 業 目 標	公民館事業の実施						
事業実施状況	地域の特性を活かした公民館活動の推進が図られるよう、活動支援を実施した。						
事務事業評価	各地区公民館の分館事業の実施事業数にばらつきがあるが、地域の人材を活用しながら事業が実施されており、成果を上げている。	評価委員の意見	地域の活性化のためにも、充実した取組の継続を望む。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	公民館分館事業を通じて、地域のコミュニティ機能の活性化と健康で文化的な事業が実施されるよう支援に努めていきます。						

番 号	17-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係		
事 業 名	公民館の充実						
事 業 目 標	図書室の充実						
事業実施状況	全ての世代の町民が本を読む楽しさを共有できるよう、利用者ニーズ(リクエスト)等を考慮した図書の購入や新刊図書情報の発信及び図書ボランティア等との連携により、見やすい配置整備を実施した。 また、各地域における読書機会を拡充するため巡回図書を実施した。						
事務事業評価	見やすい配置整備と利用者のリクエストを考慮した図書購入により、図書室機能の向上が図られた。	評価委員の意見	町民の読書機会の充実を図るため、図書整備の実施と巡回図書の継続を望む。				
		達成度	A	効果度	A	総合	A
今後の方向性及び方策等	利用者ニーズにあった図書整備の充実に努めながら、定期的な巡回図書と情報提供を行いながら、図書室機能の向上と読書活動の推進を図ります。						

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

前年度の点検・評価対象事務・事業のうち、今後の方向性で廃止、休止、完了とした事務・事業以外の当該年度における点検・評価の結果は次のとおりです。

(1) 当該年度点検・評価対象事務・事業

前年度点検・評価対象事務・事業名 (廃止、休止、完了事務・事業を除く)		前年度 総合 評価	当該年度 総合 評価	備 考
学 校 教 育				
1	確かな学力を育む			
①	学力の向上の取組	A	A	
②	土曜授業の実施	A	A	
③	小中高連携の推進	A	A	
2	豊かな心と健やかな体を育む			
①	いじめを防止する取組	A	A	
②	体力・運動能力の向上の取組	A	A	
③	部活動支援の取組	A	A	
3	だれもが輝く教育の推進			
①	特別な支援を要する児生徒への 支援の充実	—	A	新規
4	信頼される学校づくりの推進			
①	教師力向上の取組	—	A	新規
5	教育環境の充実			
①	学校営繕等の取組	A	A	
②	ICT 機器の活用	A	A	
③	安全・安心の学校給食の提供	A	A	
6	学校・家庭・地域の連携・協働による教育の推進			
①	コミュニティスクールによる 学校づくり	A	A	
7	南富良野町の特性をいかした教育の推進			
①	環境教育の推進	A	A	
高 等 学 校 教 育				
8	高等教育の推進			
①	魅力ある学校づくり	B	A	
②	就学支援の取組	A	A	

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

③	部活動支援の取組	A	A	
④	進路支援の取組	A	A	
生涯学習				
9	家庭教育の推進			
①	放課後子ども教室の活動	—	A	新規
②	子ども朝活事業の実施	—	A	新規
10	少年教育の推進			
①	本部町親善交流事業の実施	A	A	
11	青年教育の推進			
①	青年教育の充実	A	A	
12	成年教育の推進			
①	成年教育の充実	A	A	
13	高齢者教育の推進			
①	千里大学の充実	A	A	
14	芸術文化の振興			
①	芸術・文化の学習機会の充実	B	A	
15	体育の振興			
①	社会体育事業の充実	B	A	
16	文化財保護の推進			
①	郷土資料の活用	B	B	
②	文化財の活用	B	A	
17	公民館の充実			
①	公民館の施設管理	B	A	
②	公民館事業の実施	B	A	
③	図書室の充実	B	A	

(2) 当該年度点検・評価対象事務・事業について

前年度点検・評価対象とした事務・事業で、当該年度においても対象となった事務事業は、全部で26事務・事業でありました。前年度総合評価で「A」と評価した18事務・事業のうち、当該年度「A」評価が18事務・事業、前年度「B」と評価した8事務・事業のうち当該年度「A」評価が7事務・事業、「B」評価が1事務・事業という結果でありました。また、今年度新たに評価対象とした4事務・事業については、「A」評価という結果でした。

10 学識経験者

平成 29 年度教育委員会事務の管理及び執行の状況における点検・評価の方法や結果等について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者として南富良野町教育委員会教育行政評価委員から意見等を聴取し、知見の活用を図っています。

1. 南富良野町教育委員会教育行政評価委員

氏 名	職 業 等
上 坂 利 江	団体臨時職員(保育士資格保有)
小 林 弘 幸	農業（社会教育主事資格保有）

2. 意見聴取日等

日 時	場 所
平 成 30 年 7 月 19 日	南富良野町役場 中会議室
平 成 30 年 7 月 31 日	南富良野町役場 小会議室
平 成 30 年 8 月 27 日	南富良野町役場 小会議室

3. 意見の内容

(1) 各事務・事業ごとの点検・評価に関することについて

各評価委員から点検・評価に対し出された意見の内容については、「9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果（評価シート）」に記載しています。

11 教育委員会の組織

1 教育委員会委員（平成 29 年度在籍者）

職 名	氏 名	任 期	保護者	備 考
教育長	岩淵 秀一	平成 28 年 11 月 16 日～ 平成 31 年 11 月 15 日		第 1 期目
教育長 代 理	河野 高好	平成 26 年 10 月 1 日～ 平成 30 年 9 月 30 日		第 3 期目
委 員	久保田宏孝	平成 25 年 10 月 1 日～ 平成 29 年 9 月 30 日		第 3 期目
委 員	大神 裕全	平成 27 年 10 月 1 日～ 平成 31 年 9 月 30 日	○	第 1 期目
委 員	柴田 昭江	平成 28 年 11 月 16 日～ 平成 32 年 11 月 15 日		第 1 期目
委 員	金村 萌絵	平成 29 年 10 月 1 日～ 平成 33 年 9 月 30 日		第 1 期目

2 事務局組織（平成 29 年度現在）

